

# 園長だより

No. 1

満開の桜のもと新年度を迎えることができました。

新入園児の保護者の皆様、心からご入園のお喜びを申し上げます。

また、一学年ずつ進級した子どもたちの保護者の皆様、進級おめでとうございます。

幼稚園は人として、どのように振る舞い、どんな気持ちで日々を送れば良いのか、人生にとって必要な知恵を家族以外の人とのかかわりのなかで、学び始める第一歩になります。そして、幼稚園は集団生活の場です。「他」との関わり合いのなかで「必要と不都合」を体験します。今まで家庭のなかで、自分中心で回っていたことが、幼稚園の生活では思い通りに行かなくなります。時には、涙をこらえながら悲しさやくやしさを知り、その度に心のひだを増やして他人の優しさや、悲しみもわかる子どもに成長していきます。

これから子どもたちは、驚きと発見と新しい体験のまっただなかに入り、興味と興奮のなかで生活していきます。その時こそ、親は踏みとどまって一歩離れて、子どもが自分で立ち上がるのを、見守ってあげてください。子どもたちは、少しずつ園に慣れ、やがて落ち着きを持ち、必ず皆が幼稚園を大好きになります。

その親の「待つ勇気」が子どもの力になります。それは、私達教師も同じことがいえます。そして、私達も親も子どもと共に成長していきます。

今年度一年間、保護者の皆様からお預かりした大切なお子様が、健康で安心して明るく元気に園生活を送れますように全職員で一生懸命に取り組んで参ります。

保護者の皆様には、ご心配なことはどうぞご遠慮なくご相談くださって、共に考えていきたいと思っております。

